

プレスリリース

InnoTrans 2024 のシェフラー (ホール 21、ブース 430)

効率と信頼性 - 旅客、貨物、重量物輸送用 TAROL アクスルボックスベアリング

- AAR 規格および EN 12080 の認証を取得
- 顧客別設計によるアプリケーション最適化製品
- 幅広い用途に対応する摩擦に最適化されたシール

2024-09-18 | Schweinfurt | Yokohama

低摩擦のTAROLアクスル軸受は、より信頼性が高く経済的な鉄道運営を可能にし、シェフラーがInnoTrans 2024で主に展示する製品の一つです。展示品には、AAR(米国鉄道協会)市場向けに開発されたTAROLアクスル軸受も含まれています。これらの軸受は、AARおよび欧州規格の両方の認証要件を満たしているため、欧州だけでなく、米国、オーストラリア、インド、東南アジアなど、多くの国や地域で使用することができます。長寿命でメンテナンス間隔が大幅に延長されていることが特徴で、信頼性の高い運用を実現します。

シェフラーの複列円錐ころ軸受の優れた信頼性は、同社の包括的なシステムノウハウの賜物です。TAROL車輪ベアリングの場合、この優れたノウハウは、転がり軸受、シール、潤滑剤、ハウジングで構成される高度に統合されたユニットに現れています。その結果、極度の負荷がかかっても平均以上の信頼性と堅牢性を実現しています。顧客のニーズに合わせた設計により、軸受の寸法と素材は、必要な積載量と走行距離に最適に適合させることができます。シェフラーは、さまざまな用途に対応するさまざまなバリエーションを提供しています。例えば、TAROL GGのバリエーションは貨物輸送機関車用に特別に設計されており、高容量のクラスKのバリエーションは重量物輸送用に最適化されています。両方の軸受には摩擦を最適化したシールが装備されており、鉄道輸送業務におけるCO₂排出量の削減に大きく貢献しています。

発行者: Schaeffler Technologies AG & Co. KG, Schweinfurt
国: ドイツ



TAROLのアクスルボックスベアリング(クラスKシール付き)は、ヨーロッパのEN 12080規格とアメリカのAAR規格の両方に準拠しています。2つの規格の異なる設計と用途を1つの製品で実現した初めてのベアリングです。

画像: シェフラー

シェフラーグループ – We pioneer motion

シェフラーグループは、75年以上にわたり、モーション・テクノロジーの分野で画期的な発明と開発を進めてきました。電動モビリティ、CO₂効率に優れたドライブシステム、シャシーソリューション、インダストリー4.0、デジタル化、再生可能エネルギーに関する分野で革新的な技術、製品、サービスを提供するシェフラーグループは、ライフサイクル全体にわたり、モーションをより効率的でインテリジェントかつ持続可能なものにするための信頼できるパートナーです。モーション・テクノロジー・カンパニーであるシェフラーは、パワートレインとシャシー用の高精度コンポーネントやシステムのほか、多くの産業機械用の転がり軸受や滑り軸受のソリューションを製造しています。シェフラーグループの2023年の売上高は163億ユーロでした。約84,000人の従業員を擁するシェフラーは、世界最大級の同族企業であり、ドイツで最も革新的な企業の1つです。

連絡先

シェフラージャパン株式会社
 広報部 マネージャー 川村 修
 TEL: +81 45-287-9841
E-mail: pr-japan@schaeffler.com

